

議員14名が一般質問



※一般質問とは、議員個人が行財政状況や今後の方針などを市に問うものです。質問を行った順に、各議員から提出された要約原稿にもとづいて掲載しています。

※新型コロナウイルス感染症対策として、マスクの着用、アクリル板設置などを実施し、密を避けるため、半数は別室にて待機、傍聴しています。



市内小学校の給食

給食費滞納問題と徴収方法

答 児童手当からの徴収も検討

上田 毅 議員
(南風・維新)

問 防犯カメラ及びLED防犯灯の設置について。①小学校通学路の防犯カメラ及びLED防犯灯の設置について、残りの市内小学校8校通学路への設置計画を問う。②大学から駅までの通学路に、防犯灯が少なく暗いとの指摘。女子学生にとって恐怖心を抱える。市の対応を問う。

市長 道路の要点として試行的に整備。成果を参考に今後、計画的に整備を引き続き検討。

問 中学校給食基本計画案では令和5年の稼働を目指す予定だが冠水地域である。近年の異常気象から防災対応のできる造成計画と、建築を考慮した計画案を。

教育部長 基本設計や実施設計を行うに当たり、土地地

盤高や建物構造を慎重に検討。

問 小学校給食費等の滞納及び今後あり得る中学校給食滞納問題について問う。①徴収方法は在学中の児童に関しては、教員が児童宅に伺い保護者から徴収。教員本来の業務は、授業や子どもたちとの関わり、テストや進路相談等々を行い、学と教養の習得を導くことでは。②給食費等の私会計を公会計にし、滞納に対して徴収課を新設し公平公正の観点から児童手当からの天引きによる徴収と貧困対策での給食費減免制度を設けてはどうか。

教育部長 中学校給食費の公会計への導入をまず検討して小学校給食費の公会計の導入も視野に児童手当からの徴収という方法も意識し検討。

早期に中学校給食の実現を

答 令和5年度中の完成を目指す

橋本 善之 議員
(自民・新会)



都市整備が計画中の田辺中央北地区

問 中学校給食基本計画案策定に係るパブリックコメントでの市民意見の対応は。

教育部長 67名の方から165件の意見があった。いただいた意見を参考に緊急時の災害対応にも努める計画内容に追加・修正をして基本計画を策定した。計画は、3中学校同時に早期に実現するために共同調理方式で実施するもの。設置場所が水害ハザードマップの洪水浸水想定区域にあるが、これは最大規模の洪水時の避難体制等の充実強化を促すものであり、施設建設が制限されるものではない。

問 当地で共同調理方式による中学校給食実現に向けた教育長及び市長の思いは。

教育部長 市を挙げて令和5年度中の施設完成を目指す。

市長 木津川治水、内水排除対策の観点からも、教育に留まらず治水対策を推進する。

問 行政改革実行計画に係る市民協働の推進と大学連携のこれまでの成果検証は。

市長 まちづくりは行政だけでなく市民や多様な主体と協力し相互補完が重要。自治振興費の連携推進枠を活用し、地域と広域的連携組織を目指す。大学連携はこれまでの成果を踏まえ、連携事業の質を高めていく機関を設置する。

問 財政健全化に向けた財源確保策で企業誘致方針は。

理事 南田西地区は府と連携し事業化促進を図る。田辺中央北地区は商業業務や文化等の多種多様な都市機能の集積を進め、地元組合と調整しながら府の支援を求める。



ふるさと納税を活用したクラウドファンディング

ふるさと納税の拡充を求む

答 業務の民間委託を検討する

榎本 昂輔 議員
(自民・新会)

問 山手幹線の渋滞緩和に向けた令和2年度の取り組みを問う。

建設部長 山手幹線の第二京阪口交差点の信号制御を通常の方法に戻し、通学路に振り分けられた準幹線道路側の信号機を車両と歩行者を完全に分離する方式へ変更するため、交通管理者と協議している。そして都市計画道路松井大住線の拡幅に向けても進めている。

問 ふるさと納税の増収に向けた本市の取り組みは。

総務部長 増収を図るため、寄附充当事業の明確化、返礼品の拡充、民間ポータルサイトの追加など、寄附しやすい環境整備に取り組んできた。

問 自主財源が増えるメリットは、単に行政活動の自主

性と安定性が確保されるだけのものでなく、ウィズコロナ社会の先の見えない時代の中で、地元産業を守り、地域経済を活性化させる起爆剤となると考えるが、市の考えは。

総務部長 自主財源はプラスアルファでまちづくりに生かせる部分という考え方で進めている。

問 参画企業の間口を広げ、商品数を拡充すること(地元産の現物商品に限らず、地元サービス業の商品等も含む)や専門の民間企業で返礼品の選定から企画、そしてプロモーションまでやってみようかと考えているが、市の考えは。

総務部長 今後、民間活力の活用については十分活用していきたいと考えている。

用語の解説

新生児聴覚スクリーニング検査
(8面右3段目)

難聴の有無を早期に発見するために、赤ちゃんに行う聴覚検査。痛みやかゆみなどなく、赤ちゃんに負担をかけずに専用のスクリーニング装置で行う検査。

スマホアプリ
(9面右3段目)

スマホはスマートフォン
の略称表現で、アプリはア

DX
(10面右3段目)

デジタルトランスフォーメーションの略称表現で、「企業などがテクノロジー(IIT)を利用して事業の業績や対象範囲を根底から変化させる」という意味合いで用いられる。



アプリケーションの略称表現。スマホアプリとは、一般的にスマートフォンで使用されることを想定して作られたソフトのこと。